

術後即時顎補綴装置算定の流れ

病名；上顎右側歯肉癌，上顎右側顎欠損，7-1 | MT
床副子フテキ，床副子ハセツ

月日	病名	療法・処置	点数
5/10 (外来 処置)	上顎右側歯肉癌	再診 口腔外科より，術後即時顎補綴装置の製作 依頼．上顎右側に歯肉癌を認める． 印象採得(アルジネートおよびコンパウンド) 咬合採得(シリコーンバイト)	(再診料) 228点 185点
5/17		口腔外科にて上顎右側歯肉癌切除 (全身麻酔下) 術後即時顎補綴装置 装置料 * 1 装着料 * 1	2000点 300点
5/24 (入院 処置)	上顎右側歯肉癌 上顎右側顎欠損 <u>7-1</u> MT	修理(欠損部に対し，粘膜安定材，軟質裏装 材や即時重合レジンなどにて栓塞子形態を 付与)	234点
5/31 (入院 処置)	上顎右側歯肉癌 上顎右側顎欠損 床副子フテキ	欠損部，後方に潰瘍を認める． カーバイトバーにて該当部分，栓塞子部分を 削合． 着脱方向について確認． * 2	220点
6/7 (外来 処置)	上顎右側歯肉癌 上顎右側顎欠損 床副子フテキ	再診 調整(カーバイトバーにて該当部分，栓塞子 部分を削合調整) * 3, 4	(再診料) 220点

* 1；手術日に算定しなかった場合，後日退院までに算定を行う。

別日になった場合は，カルテにオペ日など記載をする。

* 2術後即時顎補綴装置を装着し，切除後の顎欠損に合わせて修理を算定する。

* 3 装置を装着した翌月から，調整または修理を月1回算定できる。

* 4床副子ハセツ 病名により 修理 234点(1017-2 2)の算定も可能

上記は同一病院 口腔外科→補綴科，顎補綴科の一例であり，
連携体制や診療行為により算定は異なる。